



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 イー・ギャランティ株式会社  
 コード番号 8771 URL <http://www.eguarantee.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江藤 公則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 邨井 望  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6327-3609

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,435	7.0	616	9.2	624	8.8	544	59.2
2019年3月期第1四半期	1,340	8.9	564	12.5	574	12.7	341	10.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 559百万円 (36.4%) 2019年3月期第1四半期 410百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.81	12.17
2019年3月期第1四半期	8.11	7.81

(注) 当社は、2018年8月16日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	14,673	10,880	66.8	230.60
2019年3月期	16,427	10,960	59.7	230.80

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,801百万円 2019年3月期 9,810百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		13.00	13.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,950	8.3	1,280	8.4	1,300	8.0	1,100	47.9	25.88
通期	6,200	11.2	2,700	7.5	2,750	7.7	2,200	33.2	51.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料6ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	42,506,400 株	2019年3月期	42,506,400 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,341 株	2019年3月期	1,306 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	42,505,067 株	2019年3月期1Q	42,143,132 株

(注)当社は、2018年8月16日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、通商問題や中国をはじめとする世界経済の不確実性、金融市場の変動の影響など、我が国の景気先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く環境を見ますと、当第1四半期連結累計期間における企業倒産件数は前年同期比1.2%減少の2,033件(帝国データバンク調べ)となっており、依然として倒産は抑制されている状況にあります。

このような環境下、信用リスク保証サービスは引き続き堅調に推移いたしました。新規顧客の増加を図るべく販売チャネルとの取り組みを強化するとともに、当社サービスの活用により、企業が行っている与信管理や債権回収の業務効率化を提案するなどのコンサルティング営業を展開いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における保証残高は3,998億円(前年同期末比10.2%増加)となり、売上高は1,435,167千円(前年同期比7.0%増加)となりました。また、営業利益616,630千円(前年同期比9.2%増加)、経常利益624,809千円(前年同期比8.8%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益544,390千円(前年同期比59.2%増加)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の2020年3月期連結業績予想に対する進捗率はそれぞれ22.7%、24.7%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10.7%減少し、14,673,791千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて21.5%減少し、9,448,722千円となりました。これは、現金及び預金が2,863,706千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて19.0%増加し、5,225,068千円となりました。これは、投資有価証券が849,470円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて30.6%減少し、3,793,204千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて31.3%減少し、3,677,921千円となりました。これは、預り金が1,178,827千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と同額となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、10,880,587千円となりました。これは、非支配株主持分が80,877千円減少したことなどによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2019年5月14日に公表いたしました売上高6,200百万円、営業利益2,700百万円、経常利益2,750百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,200百万円から変更はございません。今後の経済情勢及び業績の推移により、通期の見直しについて見直しが必要になった場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,471,840	6,608,133
売掛金	46,221	42,985
有価証券	800,000	800,000
前払費用	1,535,424	1,795,939
未収入金	79,317	92,073
その他	103,830	109,591
流動資産合計	12,036,633	9,448,722
固定資産		
有形固定資産	1,416,142	1,409,665
無形固定資産	156,489	133,525
投資その他の資産		
投資有価証券	2,403,690	3,253,160
繰延税金資産	106,916	106,916
その他	307,351	321,801
投資その他の資産合計	2,817,959	3,681,877
固定資産合計	4,390,591	5,225,068
資産合計	16,427,224	14,673,791
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,196	7,145
未払法人税等	465,773	37,241
前受金	2,647,568	2,543,300
保証履行引当金	176,264	208,716
賞与引当金	60,000	49,910
預り金	1,915,019	736,192
その他	79,137	95,415
流動負債合計	5,350,960	3,677,921
固定負債		
長期末払金	115,282	115,282
固定負債合計	115,282	115,282
負債合計	5,466,242	3,793,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,643,135	1,643,135
資本剰余金	1,053,135	1,053,135
利益剰余金	7,114,487	7,106,184
自己株式	△677	△718
株主資本合計	9,810,081	9,801,737
新株予約権	117,379	126,206
非支配株主持分	1,033,521	952,644
純資産合計	10,960,981	10,880,587
負債純資産合計	16,427,224	14,673,791

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,340,684	1,435,167
売上原価	261,347	308,075
売上総利益	1,079,336	1,127,092
販売費及び一般管理費	514,766	510,461
営業利益	564,570	616,630
営業外収益		
受取利息	5,722	5,514
持分法による投資利益	3,208	2,138
その他	659	525
営業外収益合計	9,590	8,178
経常利益	574,160	624,809
特別損失		
固定資産除却損	—	32,256
特別損失合計	—	32,256
税金等調整前四半期純利益	574,160	592,553
法人税等	163,750	32,662
四半期純利益	410,410	559,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,433	15,500
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,976	544,390

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	410,410	559,890
四半期包括利益	410,410	559,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,976	544,390
非支配株主に係る四半期包括利益	68,433	15,500

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。